



8項目の留意すべき基本的事項の一つ  
大田原市総合計画「新大田原レインボープラン」

前野 良三 議員  
平成27年度予算編成について

質問(前野良三議員)

平成27年度予算編成方針について伺います。

答弁(市長) 平成27年度の予算編成に当たっては、「経済財政運営と改革の基本方針2014」や「平成27年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針」等、国の動向を注

視しつつ、本市の財政状況や財政需要を見極め、限られた財源の重点的かつ効率的配分につとめ、高度化・多様化する市民ニーズに適切に対処することとし、大田原市総合計画など8項目の基本的事項に留意し、予算編成を行います。

本市の財政状況ですが、歳入の大幅な増額は見込めない一方、歳出では義務的経費等の増加が見込まれます。このように厳しい財政状況ですが、平成17年の合併から10周年の節目の年を迎えることから、この10周年を振り返り、更なる発展を目指し、幸せ度の高いまちづくりの実現のため、市民生活に直結する多くの事業を着実に進めます。

大豆生田 春美 議員  
子育て支援について

質問(大豆生田春美議員)

病児保育について、本市の考えを伺います。

答弁(市長) 本市においては、子どもが病気の回復期で集団保育が困難な期間に、専用スペースで一時的に保育を行う病後児保育に対応出来る私立保育園が1園

あり、平成25年度の実績で65名の利用がありました。しかし病児保育については、市内に対応が出来る保育園等が無く、更には広域連携により利用が可能となる県北地域においても対応出来る保育園等がありません。

本市においては国際医療福祉大学が、大学関連職員の福利厚生も含めた保育事業の立ち上げを、平成28年4月開所を目標に計画しており、この病児保育についても一定の理解を示して頂いております。本市としても、医療機関が病児保育を実施して頂けることが望ましいと考え

ております。



病児保育が行える施設が望まれます